

2-1

Ver.11.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.11.0 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.10.5 からの差分です)
[****/****] は、該当のオンラインヘルプです。

1. 修正ファイルの自動ダウンロード機能

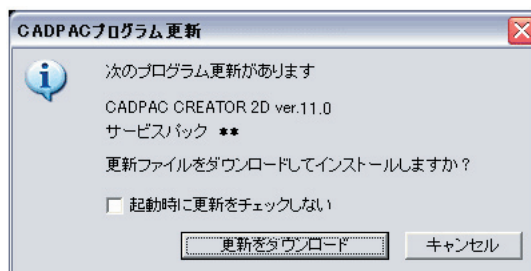
1. 更新を確認

「更新を確認」は、本システムのサービスパック、または修正ファイルが公開された時に、自動で更新ファイルをダウンロードし、インストールする機能です。

ローカルライセンス、およびネットワークライセンス共に機能します。
この機能を利用するためには、インターネットに常時接続されていることが条件です。インターネット回線は、ブロードバンド回線をお使いください。

[起動時に、更新チェックをしない] をオンにした場合は、以後、本システムの起動時には更新ファイルの確認を行いません。
プルダウンメニューの [ヘルプ - 更新確認] をクリックすることで、更新ファイルのダウンロードのダイアログボックスが表示されます。

[ヘルプ / 更新を確認]



2. 共通機能

1. インストーラ

Ver.11.0 をインストールする際に、すでにインストールされているオプションがあれば、オプションチェックを自動的にオンします。
[セットアップマニュアル]

2. CSB 履歴値

CSB の履歴値 (数値データなどの前回値の保存) を 50 個までに制限しました。これによりコマンドの起動時間を短縮化することができます。
[ヘルプ / 更新を確認]

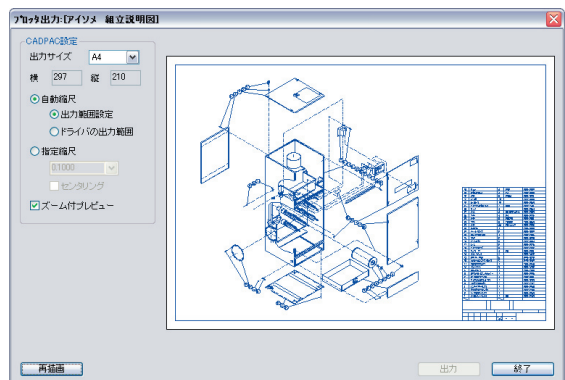
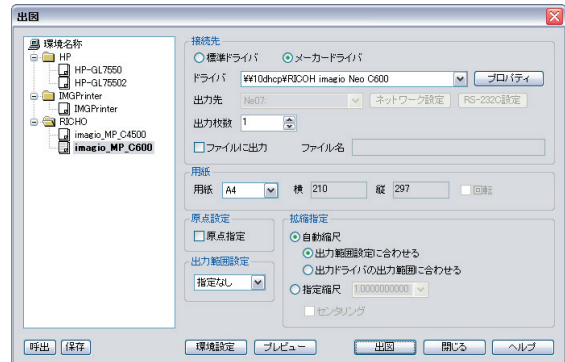
3. マウスアクション
マウス前回コマンド

CADPAC 再起動後もマウスアクションの履歴を保持するようにしました。
[基本操作 2/ 前回コマンド]

3. 2 次元汎用機能

1. 出図

ダイアログボックスを全体的に見直し、操作性の改善をおこないました。ドライブ設定と基本設定を一つのダイアログボックスにまとめ、環境名称をツリー化しました。またプレビューを見ながらの出図設定を可能にするなど、よりビジュアルで使いやすくなりました。[ファイル / 出図]



2. 出図

DOS のコマンドライン (プロンプト) から本システムで作成した図面を直接出図することができるようになりました。

【書式】

```
c:\Program Files\CADPAC\2d.1100\cadpac.exe /print c:\sample1.fdc
```

- ・ 出図ドライブは、「出図コマンドで設定されているドライブ」を参照。
- ・ 用紙変換は、「連続出力コマンドの設定」の設定を参照。
- ・ バインダー図面でシートが複数ある図面 (FDD, FDE) はすべてのシートを出力。

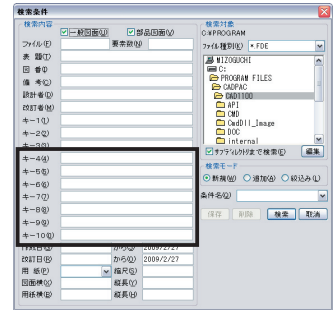
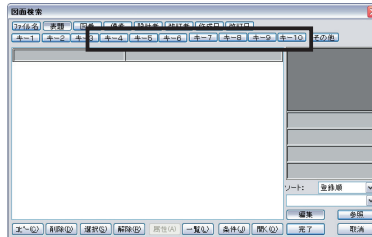
[ファイル / 出図]

3. 図面検索

条件キー 4 から 10 に対応しました。

図面検索ダイアログ、条件検索ダイアログそれぞれにキー 4 からキー 10 が追加されています。

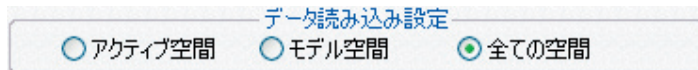
[ファイル / 図面検索]



4. DWG・DXF 入力

DXF/DWG の図面入力で、モデル空間とレイアウト空間がある図面を、バインダーシートに一括ですべて読み込むモードを追加しました。

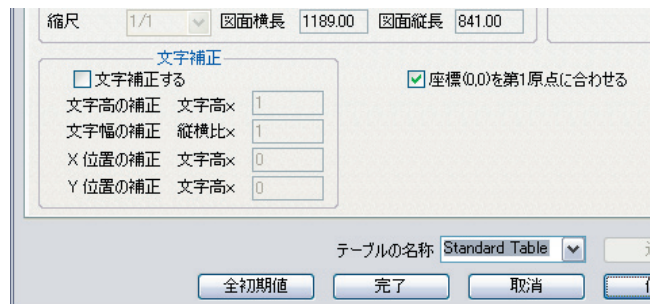
[ファイル / 外部入力 / DWG・DXF 入力]



5. DWG・DXF 入力

第 1 原点を AutoCAD 原点 (0,0) へ合わせて変換できるようになりました。

[ファイル / 外部入力 / DWG・DXF 入力]



6. DWG・DXF 入出力

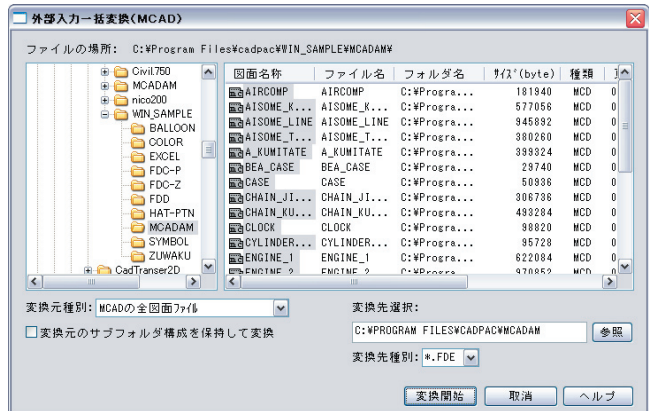
寸法互換性を向上させました。

- ・論理寸法が付加されている平行寸法は、情報を保持して双方向間で互換する。
- ・3点角度寸法、弧長寸法、引出線、折り曲げ寸法、幾何公差の線端形状を線端要素として取り込む。

[ファイル / 外部入力 / DWG・DXF 入力]

7. MCAD 出力

任意のフォルダに対して出力できるようになりました。あわせてダイアログボックスの見直しを行い、操作性の向上を図りました。
 [ファイル / 外部出力 / MCAD 出力]

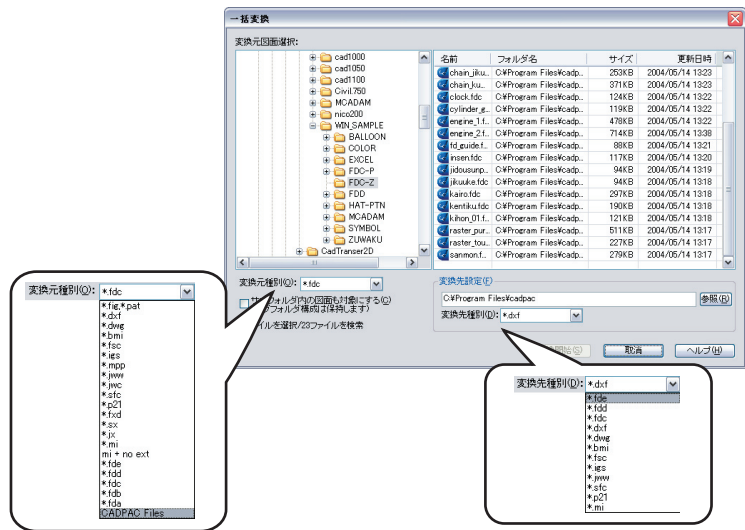


8. MCAD 入力
MCAD 出力

外寸内矢、補助線付き円寸法に対応しました。
 [ファイル / 外部入力 / MCAD 入力]
 [ファイル / 外部出力 / MCAD 出力]

9. 一括変換

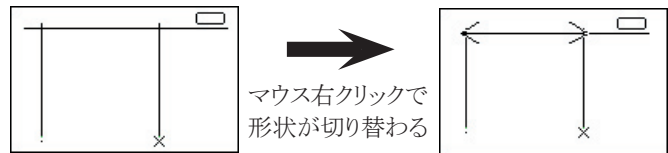
従来の「一括入力」と「一括出力」を統合し、新しく「一括変換」としました。
 [ファイル / 一括変換]



10. 平行寸法

外寸内矢の作図が可能になりました。マウス右クリックで通常の両外寸形状と切り替わります。

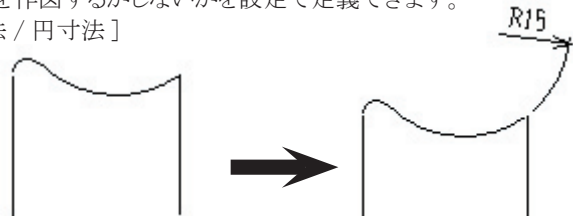
[作図 / 寸法 / 平行寸法]



11. 円寸法

寸法が作図対象の円弧要素の範囲から出る場合、指定した円弧の延長円弧を作成し、そこに半径・直径寸法を作図できるようになりました。外寸補助線を作図するかしないかを設定で定義できます。

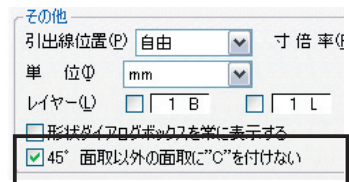
[作図 / 寸法 / 円寸法]



12. 面取寸法

作図する際修飾される接頭語”C”を除いて描画できるようになりました。[7. 設定]の共通タブにある「45° 面取以外の面取に”C”を付けない」にチェックを入れると機能が有効になります。

[作図 / 寸法 / 面取寸法]



13. オフセット寸法

「平行寸法」コマンドと同じように「逐次モード」と「一括モード」が選択できるようになりました。[8. 設定]の共通タブにあるプルダウンメニューで変更できます。

[作図 / 寸法 / オフセット寸法]



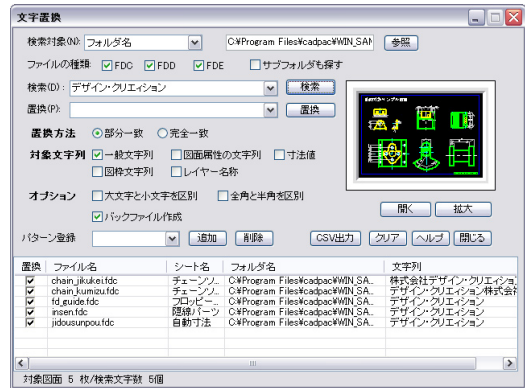
14. 連結文字

寸法文字等のグループ化されている文字要素に対しても連結文字を付加できるようになりました。

[作図 / 文字記入 / 連結文字]

15. 文字置換

検索及び置換したファイルの詳細情報が一覧に表示されるようになった他、一覧クリア機能やプレビューの拡大ボタンを追加し、より使いやすくなりました。[作図 / 文字編集 / 文字置換]



16. 属性編集

ボールド (太字)、イタリック (斜体) 処理ができるようになりました。[作図 / 文字編集 / 属性編集]



17. 属性編集

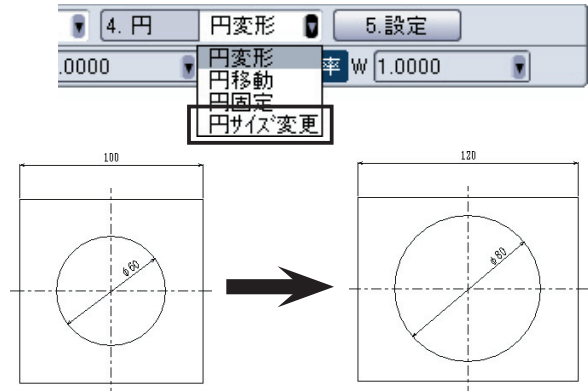
寸法公差の文字フォントが編集できるようになりました。[作図 / 文字編集 / 属性編集]

18. 切取複写

複数のレイヤーにまたがってグループ化された要素を複写する際、非表示・非検出のレイヤーの要素を省いて切取処理するようになりました。[編集 / 複写 / 切取複写]

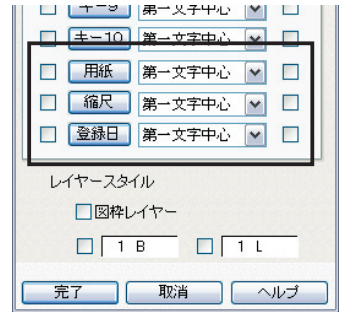
19. 均等変形

円の中心を固定したまま、直径を変更できるようになりました。[4. 円]に「円サイズ変更」が追加されています。
[編集 / 変更 / 均等変形]



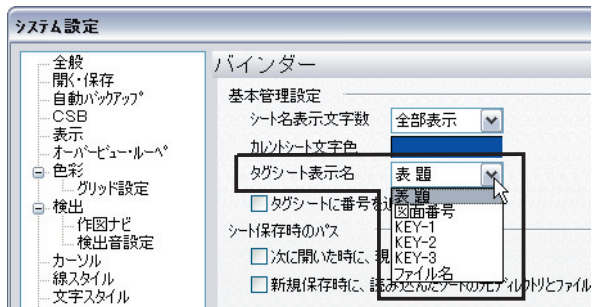
19. 図枠情報設定

新たに「用紙サイズ」「縮尺」「登録日」を図面に配置できるようになりました。
[構成 / 図枠 / 図枠情報設定]



20. システム設定・バインダー

バインダーウィンドウのタグに表示するシート名の初期値の参照先を指定できるようになりました。
[補助 / システム設定 / バインダー]



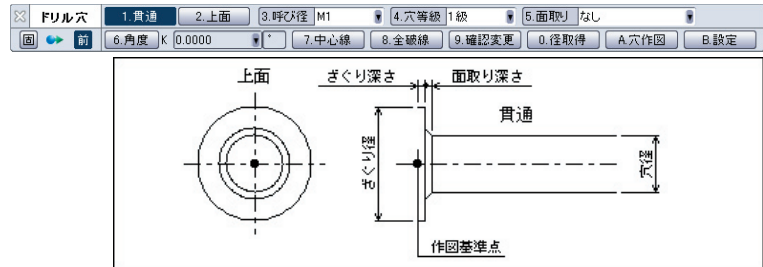
4. 機械オプション

1. ドリル穴

ドリル穴形状を作図します。上面図の指定ができ貫通穴も作図できます。ダイアログの設定により、各種形状指定ができます。

「穴作図」CSBの[A.ドリル穴]から起動することもできます。

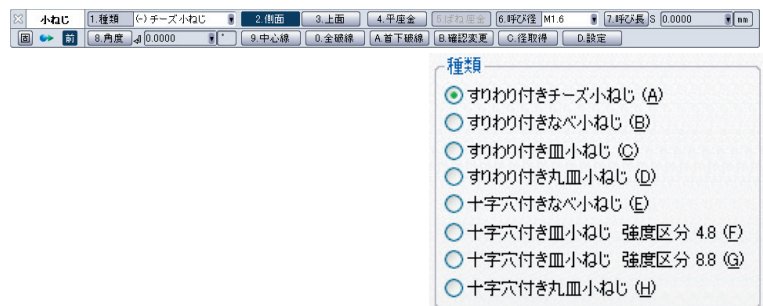
[オプション / 機械 / 機械定型3/ドリル穴]



2. 小ねじ (最新 JIS 対応)

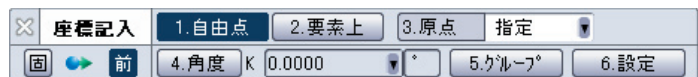
最新 JIS 規格 (2007 年版) に対応した小ねじが作図できます。

[オプション / 機械 / 最新 JIS 対応 / 小ねじ]



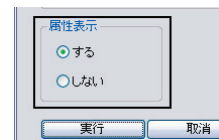
3. 座標記入

注釈コマンドと共通の作図手順になりました。それに伴い CSB も変更されました。[オプション / 機械 / 機械記号 / 座標記入]



4. 径取得と属性表示の分離

ボルトやナット、ネジ類などで、CSBの[径取得]ボタンのON/OFFで表示制御していた「属性表示」の設定を機械共通 - 機械スタイルに移行しました。[オプション / 機械 / 機械共通 - 機械スタイル]



5. JIS 機械パーツ

最新データとなりました。部品点数は 56 万点。

Ver.11.0 の DVD-ROM からデータをインストールするか、オンライン (保守期間内) で接続してください。

[オプション / 機械 / 機械共通 - 機械スタイル]